

*現時点で以下の誤植が判明しましたので、訂正します。
とりわけ岡本佳子さまには多くのご指摘に深謝します。

- p.18 1行目 美術大学 → 美術学校
p.21 7行目 田邊幸次 → 田邊孝次
p.39 引用最後から3行目 いるだけの → いるだけに
p.41 5行目 古筆研究科 → 古筆研究家
p.42 4行目 利一郎 → 利吉郎
p.55 最後から6行目 (Two Thousand Years Art, 1959) → (2000 Years Art, 1958)
p.62 最後から2行目 留め置かれのまま → 留め置かれたまま
p.79 9行目 多く種類の草花 → 多くの種類の草花
p.83 5行目 della convertite → delle convertite
p.100 7行目 線状 → 線条
p.131 7行目 矢代はロンドンにあった。コートルード → 矢代は、ロンドンにあったコートルード
p.136 4行目 大英博物館には → 大英博物館の
p.140 7行目 一貫した大反対 → 一貫して大反対
p.157 6行目 一九三九年に『東洋の覚醒』の題名…聖尊閣から刊行される。 → 一九三八年『理想の再建』
(河出書房)に同名で邦訳収録、一九三九年六藝社版『岡倉天心全集』に「東洋の覚醒」として邦訳収
録、一九四〇年に聖文閣から英文出版される。
p.177 最後から2行目 「転身」 → 「転進」
p.200 7行目 混合に由来する……色彩混合の趣味 → 混融に由来する……色彩混合の妙
p.204 最後から5行目 (1854—) → (1894—)
p.217 1行目 鈍王 → 鈍翁
p.219 10行目 委員会会員 → 委員会委員
p.272 最後から3行目 大使(……; 在任……) → 公使(……; 公使任期……)
p.274 小見出し (1957) → (1958)
p.277 最終行 将来 → 招来
p.310 下段 最後から1行目 Kauzo → Kakuzo
p.310 参考文献に追加: 田中日佐夫『美術品移動史—近代日本のコレクターたち』日本経済新聞 1981
p.312 上段 4行目 Keiko Omoko → Keiko Omoto
p.312 上段 7行目 『アートフォーラム21』 → 『美術フォーラム21』
p.314 上段 最後から9行目 戸田禎祐 → 戸田禎佑
p.318 上段 7行目 児島喜久雄の行: 連載十四・十五にはタイトル3件「日本美術の特質」「日本美の特質」
「填空随筆」初出と没後の岩波書店による再録とで題名に変更あり。
p.321 上段 9行目 制作仙台と → 制作年代と
p.322 下段 4行目 『「美術」概念の再検討』 → 『「美術」概念の再構築』
巻末 p.21 下から5-6行目 吉川宇逸治 → 吉川逸治
巻末 p.4 ドラクロワ, ラージェーヌ → ドラクロワ, ウージェーヌ

*見落としの誤謬など、お知らせいただければ幸いです。